

自社クライアント端末のライフサイクルマネジメントを見直そう ～調達編～

株式会社 宅都ホールディングス

岩岡 加寿久



自己紹介

岩岡 加寿久 (イワオカカズヒサ)

大阪市出身

中学・高校・大学と10年間ラグビーを続け、高校・大学は、スポーツ推薦にて入学し、受験勉強をしたことがない。今思えば勉強しておくべきだったと後悔。

大学卒業後、現宅都ホールディングスに就職し、営業にて入社。

縁あって今の情報システム部に配属になる。

当時は、Yahoo!=インターネットだと思っただけ、無知でした。

株式会社宅都ホールディングス TAKUTO HOLDINGS CO.,LTD.

設立	2011年12月1日(グループ設立 1998年2月)
資本金	1億円
本社	大阪府大阪市中央区高麗橋3-2-7 オリックス高麗橋ビル
従業員数	390名(グループ全体)
事業内容	総合不動産コンサルティング事業



BUSINESS 住まいと暮らしにかかわる4つの中心事業

不動産仲介事業

年間16,000件を超える仲介件数をはじめ、大阪・京都・東京と28店舗を展開。

不動産管理事業

マンション管理、サブリース、土地や建物の有効活用から資産コンサルまで不動産オーナーのあらゆるニーズに対応。

不動産開発事業

賃貸マンションやホテル、テナントなど様々な収益不動産の開発や購入、売却に対応。

ライフサポート事業

快適な生活をサポートする入居者向け商品やサービス開発、提供。

ひとり情シスの悩み

- ①情報システム業務以外に他業務を兼務。専任できない。
- ②相談する相手がいない。知識やスキルを得るための時間を取りにくい。
- ③会社規模拡大によるシステム・セキュリティの課題は増加するが、システム管理者はひとりまたは少数。運用管理負担の増加。
- ④システム障害対応、障害復旧、ヘルプサポートに時間と責任を負われる。



会社側は、情報システム部門への理解度が低く、システムやセキュリティについての認識も低い。
問題解決するため、人員を増加させるよりもアウトソーシング出来る業務は、アウトソーシングしてしまう。
本当に手が回らない状況であれば人員増加の理解度を深めてもらう。

自社クライアント端末ライフサイクル(過去)

＜端末構成＞

デスクトップPC (モニタ15インチ)もしくはモニター一体型

CPU: Celeron

メモリ: 524MB~1GB

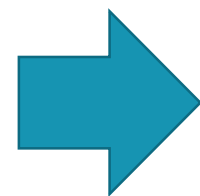
HDD: 250GB



今までのライフサイクル

購入

新規出店
人員増加



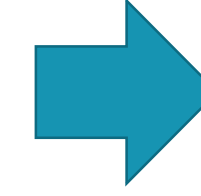
セットアップ

初期設定
利用者設定



故障

電話対応
リモート対応
有償修理



廃棄

物理廃棄
入替期間が定
められていない

WindowsXPからWindows7への入替 課題点

2014年4月でWindowsXPサポート終了

- ①Windows7に入替で現システムが稼働するのか
- ②スペック比較 どれくらいのスペックがあれば十分なのか
- ③コスト面の比較 購入時のコスト、有償故障のコスト
- ④入替時の対応(PC300台、店舗事務所約35拠点)



要件定義

必要なスペック・モニタ仕様など
メーカーはHPorNECに限定
部署ごとにAパターン・Bパターンと2パターン仕様選定
合計約300台

管理者用として1台テスト導入

現システム・基幹システムに対応するか検証
問題なく利用できることを確認



ステップ2 3社から見積取得 購入orレンタル

見積依頼～取得

○A社(既存ベンダー)

○B社(別途ベンダー)

○C社(レンタル会社)

合計3社に見積依頼、相見積もり



ステップ3 3社見積内容比較

A社・B社 2社間で多少の金額差 サポート内容や期間についてはほぼ変わらない
 C社 レンタル独自のサポート内容 金額面は2社を上回る

【サポート面】

◇購入orリースした場合(A社・B社)

保証期間保証内容を導入時に設定し、内容によって金額差
 不具合、故障時は、サポートセンターにて電話不具合、故障の切り分け
 部品交換などの作業に関しては、社内対応
 PCをサポートセンターに郵送し、部品交換など

◇レンタルした場合(C社)

レンタル期間(最長4年間)は、端末の不具合、故障の際は翌営業日には、入替端末を納品
 破損した場合でも基本的には、無償交換で翌営業日には納品
 電源が入らない・OSが起動しない
 HDDの故障・マウス・キーボードが動かない
 モニタが映らない・液晶のひび割れ



ステップ3 3社見積内容比較

A社・B社よりもC社のレンタルPCが1万円弱ほど高い

【コスト面】

◇購入 一括支払いorリース契約

一括支払い: インitialコストが増大。経理的に資産計上。

リース契約: 年間単位での分割支払いが可能。しかしリース料が別途必要。

◇レンタル

契約期間中は、月ごとの支払いが可能。ただし途中解約の場合、差額の残支払いがある。

○情報システム部として、C社のレンタルPCを選定

故障時不具合時の入替に費用がかからないことがポイント
また短期間でのレンタル利用も可能。



ステップ4 社内承認

社内用プレゼン資料作成

PC入替の稟議承認で社長プレゼンするがNG

WindowsXpからWindows7への入替の必要性やセキュリティ面の危険性など
 スペックをあげ作業効率向上の見込みや働きやすい環境の構築
 不具合や故障時に別途費用がかからないレンタルすることのメリット



C社も同席し2回目の社長プレゼンで社内承認OK

貴社情シス担当のみでは、説得出来ず。

C社営業担当者に社内営業用資料を作成頂き、コスト面・サポート面・セキュリティ面と3方向から説明。

全体スケジュール

